



TUIのジェット (大西洋の島にて)

旅行好きなドイツ人

ウアラオプ (Urlaub) というドイツ語は、ドイツ人にとって大切な言葉。その意味は「休暇」です。長期のバケーション、季節のホリデー、単発の有給休暇、いずれもウアラオプと呼びます。ドイツの平均的な有給休暇は30日。これはあくまで余暇のために使うものであり、病気の場合には別に病欠を利用します。皆有給休暇をきっちり消化しますし、会社は消化させないといけない義務を負っています。州によって違うのですが祝日は10日ほどあり、これを有給休暇と合わせると年間40日もの休みになります。日本人の感覚からすると羨ましい限りです。

さて、その長いウアラオプをどう使うか。誰に聞いても一番に返ってくる答えが旅行です。ドイツ人は旅行好きな国民で、最近中国に抜かれるまでは、年間海外旅行者数が世界一でした。人口8000万人の国で、海外旅行者延べ人数が7000万人。たくさんの人が海外旅行に出かけていきます。ちなみに日本の年間海外



冬はチロリアン・アルプスのスキーリゾートへ

旅行者数は1800万人。

ドイツ人旅行者の行き先は、スペイン、イタリア、ギリシャ、トルコなどが人気で、ドイツの寒くて暗い冬の時期には、スペインのマヨルカ島やカナリア諸島に脱出してきたドイツ人でリゾートホテルのプールが埋め尽くされます。航空券とパックになった格安ツアーが人気で、なかでもTUIという世界最大級の旅行会社は傘下に航空会社も抱えており、黄色地に赤のスマイルマークを尾翼に付けたジェット機が地中海中のリゾート地に向けて飛び立っています。

ドイツは森の国。国内旅行も盛んです。アウトバーンを走るとキャンピングカーやマウンテンバイクを積んだワゴン車をよく見かけます。広い国土を網の目のように覆ったアウトバーンで頻繁に長距離ドライブをするため、中古車市場では数年落ちなのに走行距離10万キロの車も珍しくはありません。今年は、ワールドカップの優勝を旅行先のスポーツバーで観戦したドイツ人も多かったことでしょう。

(日本銀行フランクフルト事務所)

*本コーナーは海外で働く日本銀行職員または日本銀行からの出向者が執筆しています。



高速道路の国境をドイツ側 (アウトバーン) に入ると一気に速度アップ